

# スポイ みなみ

雪遊び編



# 英語の悩み 解決します!

## アレックス流 語学習得のコツ

好きだけだとなかなか上達しない英語。受験科目としても年々重要視されるようになり、どのように学習したら成績が向上するか悩む鹿南生も多い。そこで、今回、本校に新しく赴任されたALTのアレックス先生に、突撃インタビュー。出身は、アメリカのカンザス州。母国語の英語はもちろんのことドイツ語、日本語も話せるスーパーウーマンだ。ドイツの大学に留学経験もあり、現在もドイツ語や日本語もどんどん上達しているというアレックス先生。そんな、語学のスペシャリストの先生から、学習のコツを教えてくださいました。

### 鹿南生の取組は 素晴らしい

一言で言えば本校生徒の英語に対する取り組みは素晴らしいという。しかし、もっと改善できるところもあるそうだ。

それは、英語をもっと楽しんで積極的に使おうとする姿勢を持つこと。英語の会話を少しでも生活の一部にできれば英語はみるみる上達する。そのためにも、友達と一緒に英会話を毎日続けることが最も効果的という。また、一日一文でいい

### アレックス流 英語上達の方法

- ① 友達と楽しく英会話の習慣を
- ② 文法を意識しすぎず会話して
- ③ 語学サイトをうまく活用して



も真面目に学習するが、それが故に英語の習得に苦労するという。なぜなら、完璧な文法を使うことは、英語でコミュニケーションを図る上でそれほど重要なことではないからだ。むしろ、日常生活の中にも少しでも英語で話す機会をもち、英語の音楽やテ

### おすすめは DUALINGO

オンラインを用いることも有効だそう。先生のおすすめのサイトは、DUALINGOという語学学習サイトだ。グループによる教育力テクノロジーで2

### 文法・単語に こだわりすぎない

先生によると、日本人は文法や単語などをして多くの南高校生が発音のルールの学習が不十分だという。英語を習得する際は、苦手を捨てて肩の力を抜き、単語一つ一つの発音に特に注意することが大切だという。

### 発音のルールを しっかり学んで

レビ、本、ニュースなどに挑戦する方がよいという。毎日こつこつ継続することで、少しずつ上達するそうだ。



## 谷山 カルチャー すぽっと

### 笹貫の井戸

武士の魂とも表現され、世界にも類を見ない日本独自の発展を遂げた日本刀。近年は美術品として海外からの評価も高まり、改めて注目されている。しかし、この谷山にも何百年もの間日本刀を作り続けた「波平(なみのひら)」という職人集団がいたことを、あなたは存じだろうか。今回は、谷山各地に点在する波平刀匠の史跡の中から、特に歴史的な伝承の舞台となっている「笹貫の井戸」をご紹介します。



「笹貫の井戸」は、笹貫電停から山手に歩いて約10分。黄色いロードミラーの奥に井戸はある。



今でも祀る人は絶えない。手前の板に開けた空間が目を開けると今でも水が湧いている。

閑静な住宅地の中にある。入り組んだ道をしばらく進むと、家と家との間にわず

きやす)は、末代まで残る絶世の刀をつくるために妻を鍛冶場から遠ざけ、刀作りに取りかかった。ところが、完成間近になって心配した妻が鍛冶場の戸を開けてしまい、怒った行安は刀を裏の竹藪に捨ててしまった。それ以降、竹藪から夜な夜な妖しい光が発せられるようになったという。いぶかしく思った近隣の人々が竹藪に入ったところ、不思議なことに捨てた刀が土に刺さっており、上を向いた切っ先には無数の笹の葉が貫かれていたという。これが「笹貫」の地名の由来とされ、伝承のもととなった刀も現存している。



室町時代以降、波平刀匠は拠点を移し、「笹貫の井戸」が刀作りに果たす重要性は付近はその名の通り笹が生い茂る。記念碑には「波之平刀匠笹貫井戸」の文字。

### 笹貫の井戸

(やさめぎのいど)

★住所 鹿兒島市東谷山1丁目(笹貫バイパスをJA東部前交差点を山手の筋に入り徒歩20分ほど。看板等なし) ※大きな看板のある「波之平刀匠の遺跡」とは別の場所なので注意)

### 目標は博士号取得 趣味は料理

本名は、アレックス・サンドラ・リー・マナー・ファウティナル・バルディー。英語を教えることが大好きな先生は「私は南高校に来ることができてとてもうれしです。職員室に話しに来てくれた

013年から2年連続で最もダウンロード数が多かったアプリで、現在、全世界に1億人超の利用者がいるという。無料。

ら一緒に英語や日本語、日本の文化についてたくさん話しましょう。話しながら楽しく学べると思えますよ」と本校生にメッセージを寄せる。将来は、博士号を取得して大学で教えたいという。また、

民宿を経営して旅行者に得意の料理をふるまいたという夢も語って下さった。「南高校生ともしっかり交流したい」という先生。先生をランチに誘って一緒に英会話を楽しんでみてはどうだろうか。

### 日豪プチ国際交流

昨年12月10日、オーストラリアからの交換留学生としてメリガン・ウィルソンさん(16歳・写真左)とエリザベス・クラークさん(15歳・写真右)が本校を訪れた。2人によると、オーストラリアの学校は日本とは異なる習慣がいくつもあるという。ブレイクタイムという昼休みとは別におやつを食べる時間があるという。掃除時間もなく、生徒は授業が終わるとそれぞれ習い

### コアラは怖い?

事していくという。オーストラリアでは、学校を離れた習い事が日本の部活動のようになっていくようだ。エリザベスさんはダンス部に所属しており、タップダンスが得意。驚くことにメリガンさんの趣味は乗馬。これも広大なオーストラリアならではの。日本でオーストラリアと言えば「コアラ」と言える「コアラ」のイメージだと話をしたところ2人は「あの凶暴な生き物が?」と驚



きを隠せない様子だった。日本では話題の若者の選挙権については、オーストラリアではなんと16歳から国政選挙に参加できる権利がある。しかし、「誰に投票していいかわからない。詳しい説明がほしい」と日本の若者と同じ悩みを語ってくれた。

